

記 入 例

## 指定給水装置工事事業者 指定・更新時確認書

(宛先) 高槻市水道事業管理者

令和〇 年 〇 月 〇 日

氏名又は名称 〇〇水道設備

代表者氏名 水道 太郎

### 給水装置工事事業者の業務内容

事業所の名称		
〇〇水道設備 △△事業所		
事業所の住所		
大阪府△△市△△町△丁目△番△号		
休業日、営業時間、修繕対応時間 (該当部にチェック及び記入してください。)		
休業日： <input type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 祝祭日 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 第2土曜日 第3水曜日 )	営業時間： 9時から17時	修繕対応時間： 月～金 9:00～24:00
※長期連休中の不定期 連絡先		
事業所の電話番号		
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
修繕対応可能な業務内容 (該当部にチェックしてください。)		
<input checked="" type="checkbox"/> メーター上流側の埋設部の修繕 <input checked="" type="checkbox"/> メーター下流側の埋設部の修繕 <input checked="" type="checkbox"/> 屋内の修繕 <input type="checkbox"/> 対応不可		
対応工事種別 (該当部にチェックをつけてください。)		
配水管からの分岐 ～ メーター ( <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 改造 ) メーター ～ 屋内給水装置 ( <input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 改造 )		
その他		
緊急時連絡先：090-XXXX-XXXX (代表者携帯)		

営業時間及び修繕対応時間を記入してください。2件まで記入できます。

代表となる電話番号をそれぞれ1件記入してください。

修繕業務について、対応しているものがあればチェックしてください。修繕業務に対応していない場合は対応不可にチェックしてください。

修繕に限らず、貴社が行う給水装置工事について、該当するものいずれかにチェックを入れてください。  
 新設：新築や開発等  
 改造：建て替えや増径による引込替等

※ 業務内容に修繕以外の場合は、必ず給水事業管理者に水道事業管理者の承認を得る事業所であることを記載してください。  
 ※ 本確認書の提出は、本都府県への公表対象となります。

記入例

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施行技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名	研修会名、実施団体	受講年月日
水道 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	○年○月○日
水道 次郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	○年○月○日

外部研修（e-ラーニング）等で実施した場合、修了証や修了年月日が明示されたものの写しなどを添付してください。

自社内研修の場合は研修内容を記入してください。証明の書類や受講の事実を証明する押印は求めません。

選任している主任技術者の研修受講実績を記入するものとし、受講実績がない場合は「受講実績なし」と記入してください。

- ※ 外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。
- ※ 自社内研修については、研修内容を記載してください。
- ※ 行数が足りない場合は必要に応じてコピー等してください。
- ※ 本確認書の記載事項はホームページ等への公表対象ではありません。

過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

- 2 1枚目 対応工事種別で「配水管からの分岐～メーター」新設・改造のいずれかにチェックを入れた場合、必ず下表に配管技能者の状況を記入してください。  
 口か  
 の地  
 作業  
 いずれもチェックを入れていない（施行しない）場合、こちらのチェック欄にし点を記入してください。  
 に従事する他の 監督させること。

「配水管からの分岐～メーター」の工事を施行しないため不要

過去1年以内の工事实績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか (○×を記入)		工事年度
		保有している資格等※		
水道 太郎	○	○	講習会修了者	令和3年
水道 次郎	○	○	配管技能士	令和元年
給水 太郎	○	×	—	平成30年

雇用関係又は下請け等も含み、給水装置工事に主に従事した者の氏名を記入してください。

資格を保有していなくても、経験を有していれば記入してください。

下記の注釈※①～④に示す資格等を保有している場合、記入してください。配管技能に関する資格等を記入する欄です。「管工事施工管理技士」などは該当しません。

直近の工事を行った年度を記入してください。

※ 以下に示す保有資格等（下線部）を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）
- ② 職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第44条第1項第2号に規定する職業訓練校の配管技能者の課程修了者
- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管技能者の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定）

※ 資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

※ 「配水管からの分岐～メーター」の工事を施行しない場合は、任意の記載となります。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

※ 本確認書の記載事項はホームページ等への公表対象ではありません。